

ビジョン

~「心で工学」により社会変革を先導する大学を目指して~

中京地域産業界との共創

工学が健全な未来社会を構築してゆくため、人々との対話を通じた技術開発が重視されなければなりません。本学は第4期において、「幸創造の工学」を明言し、推進する大学を目指します。即ち、単なる技術開発ではなく将来像や理想の社会等を対話によって構築するコミュニケーションとしての工学の在り方を「心で工学」として追究します。ステークホルダーに寄り添い、客観的・俯瞰的な視点と様々な人々との対話によって新たな社会基盤を創出する技術者を様々な側面から育成し、また、地域産業界を牽引して「中京地域産業界との共創」による技術開発、課題解決を進めるため、世界レベルの先端研究をグローバルかつ多様な連携に基づいて推進します。

戦略

社会共創

戦略 1

未来社会の創造に貢献します。

~地域とのパートナーシップ、研究成果の還元~

蓄積された先進的かつ高度な本学の研究成果をステークホルダーの要請と期待に沿って共創的に活用・展開し、社会変革を支える工学技術の構築を先導します。



技術者育成(教育)

戦略 2

ステークホルダーに寄り添った「心で工学」をベースとした教育を実践します。

~未来社会を創造する豊かな文化的視点を持つ多様な人材の育成~

豊かな文化的視点と優れて高度な専門知識・能力を備えた上で、工学の責任を自覚し、複合的視野・価値観を踏まえて共創的に技術の創出や課題解決に貢献でき自立した技術者・研究者を育成します。



研究開発

戦略 3

地域が求める世界レベルの先端研究を推進します。

~地域産業界に応える科学知とイノベーションの創出~

地域未来社会創造に資する科学知の創出に向けて、本学の研究機能の拡充とグローバル連携の一層の強化により、世界レベルの研究の重点的推進及び若手研究者の育成を推進します。

組織強化

戦略 4

教育・研究・社会貢献の機能を最大化する基盤をつくります。

~自律性と透明性あるガバナンスを確保~

自律性・透明性を高めつつ、社会共創、技術者育成、研究開発の各戦略を円滑に推進しビジョンを実現するための基盤を強化します。併せてステークホルダーからの信頼と支持を得られる体制と環境を追求します。



戦術(取組)*

▼地域の技術革新と課題解決へ「イノベーションハブ」機能を強化します

- ①ステークホルダーとの対話を通じ、名工大ビジョンの進捗や教育・研究の成果・実績等を社会へ発信します。
- ②社会変革につながる共創的イノベーションの創出と社会実装を推進します。
- ③研究成果にビジネスモデルを適用し、企業等と共に「技術の使える化」を推進します(名工大共創基盤の活用)。
- ④地域産業界等との共創的イノベーション創出につなぐ学術指導(学術に関する相談と支援)、受託・共同研究、プロジェクト研究や設備共同利用等を推進します。

▼地域産業界リカレント教育を充実します

- ⑤実績ある高度技術教育プログラムや授業科目の履修方法(IT活用等)を一層充実・柔軟化し、地域中小企業人材の育成に取り組みます。
- ⑥ステークホルダーの新たな要望を取り入れた地域中小企業人材育成共創プログラムを新設します。

▼社会共創力に優れた研究センター機能を強化します

- ⑦積み上げた研究成果を資産として社会実装を目指す学内研究センター等へ予算を重点的に措置し、特に、人に優しい社会基盤の構築を目指す福祉・医療や創薬、安全・安心および素材製造等の分野への貢献に取り組みます。

▼客観力と豊かな文化的視点を持つ工学人材を育成します

- ⑧基幹工学、高度工学、創造工学の学部教育と博士前期/博士後期の全課程に客観力と文化的視点を涵養する教育、倫理教育を拡充し、“こころ”の眼(幸福感の視点)で工学の進化を客観視できる技術者・研究者を育成します。
- ⑨創造工学教育課程で培った工学デザイン等の教育を全学に展開します。
- ▼産学官連携とグローバル連携による教育を実践します
- ⑩海外大学や地域企業と連携して、多様な協調を重視した長期インターンシップやデザインプロジェクトを推進します。
- ⑪博士後期課程では、学生の幅広い分野にわたる研究計画を支援する指導体制を整備し、自立した研究者を育成します。

▼多様な学修コースを実施します

- ⑫地域のニーズに応える修士プログラム、複合的課題に取り組む博士教育を充実します。
- ⑬海外大学と連携する修士・博士プログラムを充実します。
- ⑭学生自身の多様な学修計画に沿って複数の分野の学習等、柔軟な学修を可能とするよう、遠隔授業及び履修制度を整備し、学生のニーズに対応します。

▼世界レベルの基盤的研究を推進します

- ⑮優れた研究者を集結して世界レベルの融合的/学際的研究を重点的に強化し(ニューフロンティア)、地球に優しい環境整備を目指すカーボン・ニュートラル等、SDGsに関連した課題解決につながる基盤的研究を推進します。
- ⑯研究成果に基づく外部資金獲得に積極的にアプローチします。
- ⑰重点的に取り組む世界レベルの融合的・学際的研究を実施するグループに大学院博士前期・博士後期学生の有志が参画し、イノベーション創出を実践します。

▼グローバル連携による世界レベルの研究を推進します

- ⑱イノベーション創出に焦点を当てた最先端科学研究に取り組むため、有力な海外機関との研究ネットワークを活用した国際共同研究を推進します。
- ⑲在外研究員制度及び海外研究者の招へい制度の活用による世界レベルの大学との組織的グローバル研究連携を強化・拡充します。

▼外部知見を取り入れたガバナンスを確保します

- ⑳ガバナンスの基本範囲(国立大学法人ガバナンスコード)に適合した自律性・透明性あるガバナンスを不断に追求します。

▼コンプライアンスを徹底します

- ㉑学生及び教職員の規範意識や倫理観を高める研修等を充実します。

▼ステークホルダーの意見を傾聴し経営に反映します

- ㉒ステークホルダー会議を常設し、学外からの意見等を踏まえた大学経営を実施します。

▼ダイバーシティ&インクルージョン環境を整備します

- ㉓スタートアップ助教制度等による若手及び女性教員、研究員を増やします。
- ㉔優秀な外国人研究者を増強します。
- ㉕企業等、他機関在籍者を雇用するクロス・アポイントメント制度による多様な人材を確保します。

▼共創のための教育・研究環境を整備します

- ㉖学生及び教職員の豊かな感性を育むアートフルキャンパス構想を実現します。
- ㉗寄附金等を活用した奨学金や学生相談体制の充実及び課外活動の支援により、学生生活をバックアップします。

*戦術(取組)は、当初想定される具体的な実施事項の例示であり、事業年度の進行等必要に応じて内容を更新